

【県政パブリック・コメント】
「くまもと新時代共創総合戦略」(素案)に関する御意見の概要及び県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
第1章 施策の推進			
1 こどもたちが笑顔で育つ熊本			
(施策1)こども・若者がキラキラ輝く社会づくり			
1	「キラキラ輝く」という文言は「キラキラと輝く」が適切ではないか。	「こどもまんなか熊本・実現計画」中間整理での記載と整合させた表現としております。	参考
2	障がい者(あるいは障がい児)の施策について、貧困の面も含めて取り組んでほしい。	障がい者施策の推進に当たっては、就労支援、医療費の助成、扶養共済制度や特別児童扶養手当等の実施、生活困窮者自立支援法等の他法他施策との連携等、あらゆる取組みを通じて、障がい者やその家族等が直面している課題解決に向けた支援を推進して参ります。	参考
3	こどもの交通安全については、特に登下校時の見守りを充実させることと、自転車の乗車時のマナーについても指導を徹底してもらいたい。	「(施策1)こども・若者がキラキラ輝く社会づくり」「②特に支援が必要なこどもへの支援」に以下のとおり追記・修正いたしました。 「こどもが犯罪や交通事故の被害に遭わないよう、通学路の見守りカメラの設置、 <u>交通安全アドバイザーや各種シミュレータによる交通安全教育を推進</u> するほか、『 <u>県警こども見守り・訪問隊</u> 』の活動を推進するとともに、防犯ボランティア団体、地域のスクールガードなどによる登下校時の見守り活動の支援を行います。」 自転車の乗車時のマナーの指導については「4 県民の命、健康、安全・安心を守る」「(施策4)安全・安心の地域づくり」「③交通安全意識の普及啓発の促進」に記載しています。 頂いた御意見を踏まえ、自転車の安全な利用に係る啓発活動を引き続き推進して参ります。	反映
4	こどもや若者によるオーバードーズに関する専用の窓口の周知が必要であることから以下下線部分の箇所を追記するべき。 ・こどもに手を差し伸べる立ち直り支援活動等の少年の非行防止活動に取り組むとともに、 <u>大麻などの薬物乱用防止</u> 、SNSに起因する性被害等防止のための広報啓発や児童ポルノ事犯等の悪質な福祉犯罪の取締りを強化します。 ・ひとり親、ヤングケアラー※2や、貧困、ストーカー、DV、児童虐待、障がい、ひきこもり、薬物依存、 <u>市販薬・処方薬の過剰摂取</u> など、 <u>孤独・孤立</u> や様々な生きづらさを抱えるこども・若者への相談体制・支援を強化します。	「(施策1)こども・若者がキラキラ輝く社会づくり」「②特に支援が必要なこどもへの支援」に以下のとおり追記・修正いたしました。 「・こどもに手を差し伸べる立ち直り支援活動等の少年の非行防止活動に取り組むとともに、 <u>大麻などの薬物乱用防止</u> 、SNSに起因する性被害等防止のための広報啓発や児童ポルノ事犯等の悪質な福祉犯罪の取締りを強化します。」 「・ひとり親、ヤングケアラーや、貧困、ストーカー、DV、児童虐待、障がい、ひきこもり、薬物依存、 <u>市販薬・処方薬の過剰摂取</u> など、様々な生きづらさを抱えるこども・若者への相談体制・支援を強化します。」 ※「孤独・孤立」については、ここでは「様々な生きづらさ」に包含しており、別途「4 県民の命、健康、安全・安心を守る」「(施策3)健康で長寿な社会の実現」「②地域共生社会の実現」で、別途、孤独・孤立に対する取組みを記載しております。	反映
(施策3)質の高い教育・未来を担う人材の育成			
5	特別支援学校については、障がいを抱えている人に寄り添う教育をお願いしたい。特別支援教育のカリキュラムについても、一人一人に寄り添う指導をしてほしい。	いただいた御意見を踏まえ、全ての県立特別支援学校で授業研究会等の取組みを進め、一人一人に寄り添う特別支援教育を一層推進して参ります。	参考

【県政パブリック・コメント】
「くまもと新時代共創総合戦略」(素案)に関する御意見の概要及び県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
2 世界に開かれた活力あふれる熊本			
(施策2)世界に伍する産業拠点熊本の創出			
6	「テクノロジーパーク」の利活用を考えるべき。	工業団地として整備したテクノロジーパークについては、令和2年度(2020年度)末までに全区画売却済みです。 なお、「(施策2)世界に伍する産業拠点熊本の創出」「②「くまもと版スタートアップ・エコシステム」の創出」(UXプロジェクト)において、テクノロジーパークにおける拠点施設整備を含め、人・もの・技術・情報が集まる”知の集積”を推進する「UXプロジェクト」を進めることとしています。	記載済
7	半導体関連企業のある自治体のまちづくりについて、市民・住民の声を聴取すべき。	頂いた御意見を参考に、地域住民の声を聴取する機会に関しては、関係市町村の首長とも御相談しながら、検討して参ります。	参考
8	DXの意味が分かりづらいので、デジタルトランスフォーメーションに記述を変更してほしい	本戦略で最初にDXと記載がある11ページに以下の通り注釈を追加しました。 「デジタルトランスフォーメーション、デジタル技術を活用した変革。」	反映
9	人手不足に対応するためにも、デジタルトランスフォーメーションは重要。	ご意見の通り人手不足への対応にあたってデジタルトランスフォーメーションは重要であると認識しており、今後も引き続きその推進を図ってまいります。	参考
10	DXの推進とともに、サイバーセキュリティも同時に充実させるものと考えていますが、④DXの推進の記載項目にサイバーセキュリティに関する事項も明示いただきたい。	頂いた御意見を踏まえ、「DXの推進」の基盤となるサイバー空間の安全確保に向けた、人材の育成、必要な資機材の整備など対処能力の強化に取り組んで参ります。 また、一般的なセキュリティリテラシー等については、県総合戦略の下位計画である熊本県デジタル化推進計画に記載し、具体的な取組みを実施して参ります。 なお、「4 県民の命、健康、安全・安心を守る」「(施策4)安全・安心の地域づくり」「①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進」に、サイバー空間の安全確保に関する取組みを記載しています。	参考

【県政パブリック・コメント】
「くまもと新時代共創総合戦略」(素案)に関する御意見の概要及び県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
(施策4) スポーツ、観光、文化芸術の振興			
11	スポーツと観光、文化芸術のそれぞれの振興策は三位一体で取り組んでほしい。	「2 世界に開かれた活力あふれる熊本【取組みの方向性】」に以下のとおり記載しています。 「 ●スポーツ、観光、文化芸術の振興を通じて、県民の心の豊かさや充実した生活を実現するとともに、国内外へ熊本の魅力を発信し、交流人口の拡大及び地域や経済の活性化につなげます。 」 頂いた御意見も踏まえ、スポーツツーリズムや歴史・文化ツーリズムなどの推進により、それぞれの振興策を推進して参ります。	記載済
12	スポーツによる健康の増進政策により、コロナ禍によって運動しなくなった方々の元気や健康寿命延伸につなげてほしい。	「①スポーツ政策の推進」と併せて、「4 県民の命、健康、安全・安心を守る」「(施策3)健康で長寿な社会の実現」「①人生100年時代の充実に向けた体制づくり」に記載のとおり、人生100年時代に向け、健康増進を目的とした運動の普及についても取り組んで参ります。	参考
13	近年、スポーツ選手の「意図しないドーピング(うっかりドーピング)」が問題となっている。日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が中心となって、アンチ・ドーピング活動を行っており、薬剤師を対象に認定されているスポーツファーマシストによるスポーツの公正性とアスリートの健康を守るための活動を明記してもらいたい。	御意見を踏まえて、「(施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興」「①スポーツ政策の推進」に以下の記載を追加します。 「また、スポーツドクターやスポーツトレーナー、スポーツファーマシストなどの専門家と連携を図り、アスリートの健康管理やアンチ・ドーピング活動などもサポートします。」	反映
14	熊本にしかないというキラコンテンツがあればよい。 例えば、「熊本電車劇場。レトロな電車は動く博物館(市電・熊本電鉄等)」「サウナの聖地」「掛け流し温泉の宝庫」「野菜の王国(野菜ソムリエ)」など、今、在るものを違う視点(マニアによる推し活等)で見磨いていけば、魅力的なコンテンツになるのではないか。	「(施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興」「②観光振興」「(魅力ある観光地域づくり・誘客強化)」に、観光資源の発掘・磨き上げや観光コンテンツの開発について記載しています。 頂いた御意見も踏まえ、今後も国内外へ熊本の魅力を発信して参ります。	記載済
15	熊本県立劇場で上演するコンテンツを充実してほしい。	県立劇場の自主事業等において、新たな分野への取組みを推進する等、上演内容の充実を図って参ります。	参考
16	熊本市が管理している熊本城ホールとの連携も視野に入れた方が良い。	県立劇場と熊本城ホールとの運営形態等の違い(熊本城ホールは、主に貸館事業を行っている等。)を踏まえた役割分担を意識しつつ、可能な連携(公演イベントのPR等)を図って参ります。	参考
(施策5) 交通の利便性向上			
17	熊本都市圏の渋滞解消に向け、熊本市との連携を図るべき。	「(施策5)交通の利便性向上」「①交通渋滞解消」に以下のとおり記載しています。 「熊本都市圏の渋滞解消を図るために設置した『熊本県渋滞解消推進本部』において、庁内関係部局が一体となり、都市圏の市町村や関係機関と連携の上、『自動車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍』をキーワードに、道路や公共交通におけるハード・ソフトの課題解決に向けた対策を迅速かつ強力に推進します。」	記載済
18	JR豊肥本線の輸送力強化については、都市部の混雑が常態化しているので、具体的な施策をJR九州と共に、検討してもらいたい。	「(施策5)交通の利便性向上」「②交通体系の見直し」に以下のとおり記載しています。 「JR鹿児島本線と市電・路線バスとの接続強化や、 JR豊肥本線の新駅設置・駅改良・複線化等の輸送力強化をJR九州と連携して推進するとともに 、空港アクセス鉄道整備の加速化を図り、将来の熊本都市圏交通の基幹となる高速鉄道ネットワークの実現を推進します。」	記載済
19	JR豊肥本線の改善については、沿線住民との協力により、推進してもらいたい。	頂いた御意見は、JR豊肥本線の輸送力強化の取組みを進めるうえで、参考にさせていただきます。	参考
20	阿蘇くまもと空港の利活用について、インバウンド旅客を対象とした利用促進策の検討をするべき。	「(施策5)交通の利便性向上」「③熊本空港の活性化」の国際線の誘致に関する取組みに、インバウンド旅客に対する空港の利用促進・活性化の趣旨を含んでいます。	記載済

【県政パブリック・コメント】
「くまもと新時代共創総合戦略」(素案)に関する御意見の概要及び県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
3 いつまでも続く豊かな熊本			
(施策1) 豊かな自然の保全			
21	住宅向けの省エネルギーの実現や家庭でもできる循環型社会の実現の施策を行うべき。	頂いた御意見を踏まえ、住宅の断熱リフォームや省エネ家電購入・買替え促進に向けた取組みを進めて参ります。	参考
(施策3) 魅力ある地域づくり			
22	県が、県内各市町村の魅力を発信していくと共に、地域ごとの課題解決に向けて、地域と各市町村のコーディネーター役として、役割を果たすべき。	<p>「(施策3) 魅力ある地域づくり」「①市町村との連携・地域特性を踏まえた地域振興」に以下のとおり記載しています。</p> <p>「・地域団体や市町村が行う地域活性化の取組みを支援し、地域の賑わいやつながりの創出に資する県内各地の魅力ある地域づくりを推進します。」</p> <p>「(前略)令和6年度(2024年度)から新たに県内各地で順次開催する『地域未来創造会議』において、知事と市町村長等が各地域の未来像を描き、地域の個性、課題を踏まえた地域振興・経済振興・観光振興を推進します。」</p> <p>頂いた御意見も踏まえ、市町村と連携し、県内各地域の振興に努めて参ります。</p>	記載済
(施策4) 社会の多様性			
23	障がい者の差別解消について、積極的に取り組むべき。	<p>「(施策4) 社会の多様性」に以下のとおり記載しております。</p> <p>「・『障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例』に基づき、不利益取扱いの禁止や合理的配慮の提供、虐待の禁止など障がいのある人の権利を擁護する取組みや、障がいの特性に応じた適切な配慮についての理解を深める取組みを推進します。」</p> <p>頂いた御意見を踏まえ、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」や「障害者差別解消法」の積極的な周知・啓発、広域専門相談員による相談対応など、差別の解消及び権利擁護に係る取組を推進して参ります。</p>	記載済
24	多様な人が熊本県を支えていることを認識して、県政に取り組むべき。	<p>「くまもと新時代共創基本方針」「第3章 基本理念」に以下のとおり記載しております。</p> <p>「(前略)災害や病気、<u>障がいなど様々な立場にある方々にも寄り添いながら、全ての人が自分らしく輝くことのできる社会を実現する必要もあります。</u>」</p> <p>頂いた御意見を踏まえながら、全ての人が自分らしく輝くことができるよう「県民が主人公の県政」を推進して参ります。</p>	記載済

【県政パブリック・コメント】
「くまもと新時代共創総合戦略」(素案)に関する御意見の概要及び県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
4 県民の命、健康、安全・安心を守る			
(施策2)災害に強い県土づくり			
25	自助・共助および公助のバランスを取った備えを推進することが重要ではないかと考えますので、自助の重要性についても記載いただきたい。	自助・共助および公助のバランスは重要であると認識しており、ご意見のとおりそれぞれの取組みを多数記載しています。ご意見も踏まえ、マイタイムラインや訓練等の取組みを通じて、自助の重要性について啓発して参ります。	参考
26	平成28年熊本地震の記憶の継承については、県民が語り部として、次世代に向けて、伝え続けることが肝心である。	中核拠点KIOKUをはじめとした震災ミュージアムでは、地震の記憶を後世に伝えるため、語り部の方々が活動されています。いただいたご意見も踏まえ、引き続き、中核拠点であるKIOKUを中心に、熊本地震の記憶の継承に取り組んで参ります。	参考
27	県が推進する「熊本地震震災ミュージアム・記憶の回廊」等を通じた後世に災害教訓を伝える取組みに賛同する。	頂いた御意見も踏まえ、「(施策2)災害に強い県土づくり」「①防災力の強化」「(記憶の継承・復興まちづくり)」に記載している、防災学習の推進や災害の教訓の継承等の取組みを通して、今後も記憶の継承に努めて参ります。	参考
(施策3)健康で長寿な社会の実現			
28	以下下線部分の文言を追加してほしい。 「人生100年時代に向け、生活習慣病の発症予防と重症化予防のため、 <u>こどもの頃から生涯を通じた</u> 歯と口腔の健康づくり、食環境の整備や運動の普及、健診やがん検診受診の推進等に取り組めます。また、市町村や健康経営に取り組む企業、各種団体等と連携し、健康寿命の延伸に向けた取組みを推進します。」	今回いただいた御意見等をもとに、ヘルスプランと整合を図るため「食、運動、歯科」の順に記載を変更し、「こどもの頃から生涯を通じた」が取組み全体にかかるよう、以下のとおり記載を変更しております。 「・人生100年時代に向け、生活習慣病の発症予防と重症化予防のため、 <u>健康的な食生活の形成や運動の普及、歯と口腔の健康づくり、健診やがん検診受診の推進等、こどもの頃から生涯を通じた健康づくりに取り組めます。</u> また、市町村や健康経営に取り組む企業、各種団体等と連携し、健康寿命の延伸に向けた取組みを推進します。」	反映
29	健康寿命の延伸について積極的に取り組んでほしい。	御意見をいただきましたとおり、関係課が連携を図りながら健康寿命の延伸に積極的に取り組んで参ります。	参考
30	県民に対するがん早期発見に係る啓発・取組みについて、積極的に取り組んでほしい。	がんの早期発見に繋がるよう、がん検診の普及啓発の推進や受診しやすい検診体制の推進等、第4次熊本県がん対策推進計画に基づいて取り組んで参ります。	参考
31	特殊詐欺は年々巧妙化がされているため、高齢者に対して、啓発活動を行ってほしい。	特殊詐欺の被害者となることが多い高齢者に対しては、地域における会合の機会等を捉え、詐欺の具体的な手口、現状、対処法等について、講話やチラシの配布を行うなど、対面型での啓発活動を実施しているほか、自宅等から外出機会の少ない高齢者に対しても被害防止が図られるよう、テレビCMの放映を実施するなど、あらゆる機会を活用した被害防止に資する啓発活動を実施しているところです。 頂いた御意見を踏まえ、引き続き、特殊詐欺をはじめとする詐欺被害防止に取り組んで参ります。	参考
32	障害を持つ人への必要な医療が受けられる体制、在宅医療の提供体制づくり、安心して暮らせる環境を整備する旨を追記してほしい。	「(施策3)健康で長寿な社会の実現」「①人生100年時代の充実に向けた体制づくり」に記載している在宅医療等の医療体制の充実に関する取組みは、障がいのある人も対象としています。 引き続き、障がいのある人も含め、医療提供体制の充実に取り組んで参ります。	参考
33	免疫力を高めるために、何が重要なのか、県民に対して、啓発をお願いしたい。	頂いた御意見も踏まえながら、健康づくりの基本となるバランスの取れた食事や適度な運動、健康的な生活リズム等の重要性について啓発して参ります。	参考
(施策4)安全・安心の地域づくり			
34	「公共空間化するサイバー空間の脅威への対処能力を強化し、サイバー空間の安全を確保します。また、安全・安心な繁華街等の創出に向けて暴力団、匿名・流動型犯罪グループ等の実態解明、情報分析、取締り等を一層推進します。」とありますが、前半と後半に記載された犯罪の性質や対策は異なるものと考えますので、個々に独立表記したほうがよいと考えます。	御意見を踏まえ、以下のとおり前半と後半で記述を分けて記載するよう修正しました。 「・重要な社会経済活動が営まれるサイバー空間の安全を確保するため、人材の育成、必要な資機材の整備など対処能力の強化に取り組めます。」 「・安全・安心な繁華街等の創出に向けて暴力団、匿名・流動型犯罪グループ等の実態解明、情報分析、取締り等を一層推進します。」	反映
第2章 推進体制			
35	政策評価について県民参加型の仕組みを構築してほしい。	現在の政策評価においては、県民アンケートを基にした評価項目があります。 今後、木村県政での政策評価について検討するにあたり、県民参加型の政策評価が継続されるよう、参考とさせていただきます。	参考